南砺市サイン計画（案）

平成24年５月

● 目　次 ●

１．本計画の目的・対象サイン １

２．検討の流れ ２

３．南砺市におけるサイン設置上の課題 ３

４．誘導ルートの設定 ６

５．サインの設置個所に関する基本方針 ７

６．108系サインの表示方針 ８

７．114系サインの表示方針 １２

８．サイン設置のケーススタディ １８

９．道路サインの設置順位 ２４

10．道路サインの意匠 ２９

11．維持管理と今後の課題 ３４

１．本計画の目的・対象サイン

南砺市では、平成19年からの総合計画の中で、基本目標「美しく住みよいまち」、及び基本方針「安全で快適なまちづくり」を掲げている。これは市内外を結ぶ交通・情報通信ネットワークや身近な生活環境の向上、生活基盤の確保によっていつまでも暮らし続けたいと思う安全で快適な地域づくりを目指しているものである。

本市ではこれまでにも、東海北陸自動車道やその他道路網の整備・促進を行い、生活環境の向上を図り、また、南砺市へのアクセス向上も推進してきた。

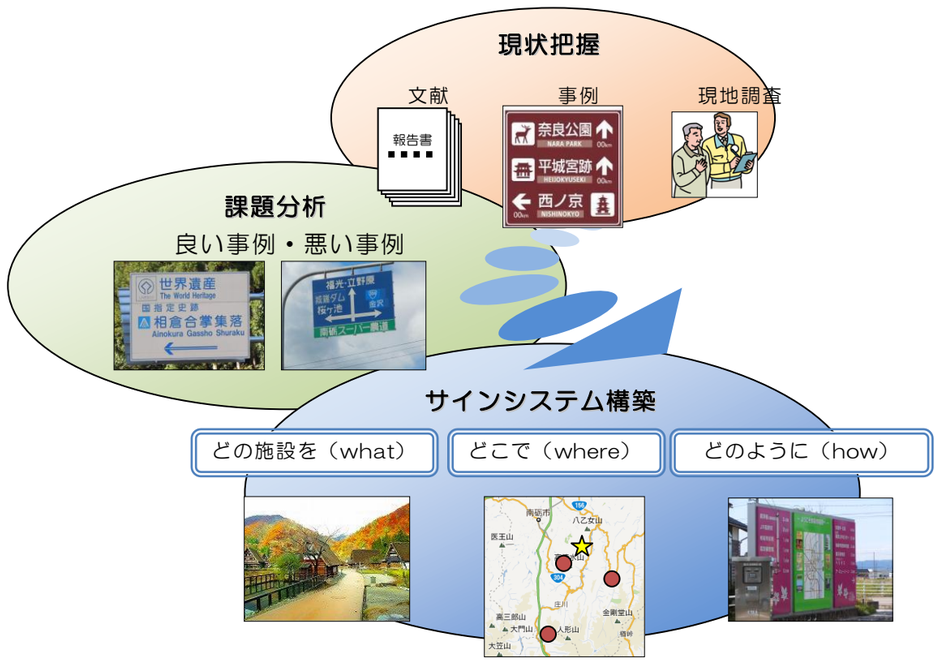
しかし、現状では、合併前の公共サイン等がまだ利用されていたり、公共サインを整備する際の統一的な基準がないため、バラバラなサイン表示がされている。このため、南砺市への来訪者や市民にとっても分かりづらい面がある。

サインの表示が適切でデザインが優れていれば、利用者にとって快適で地域の特性を感じさせるものとなるが、逆に表示が不適切でメンテナンスが十分でなければ、利用者にとって不快で、景観を阻害し、地域のマイナスイメージに繋がる。

そのために、

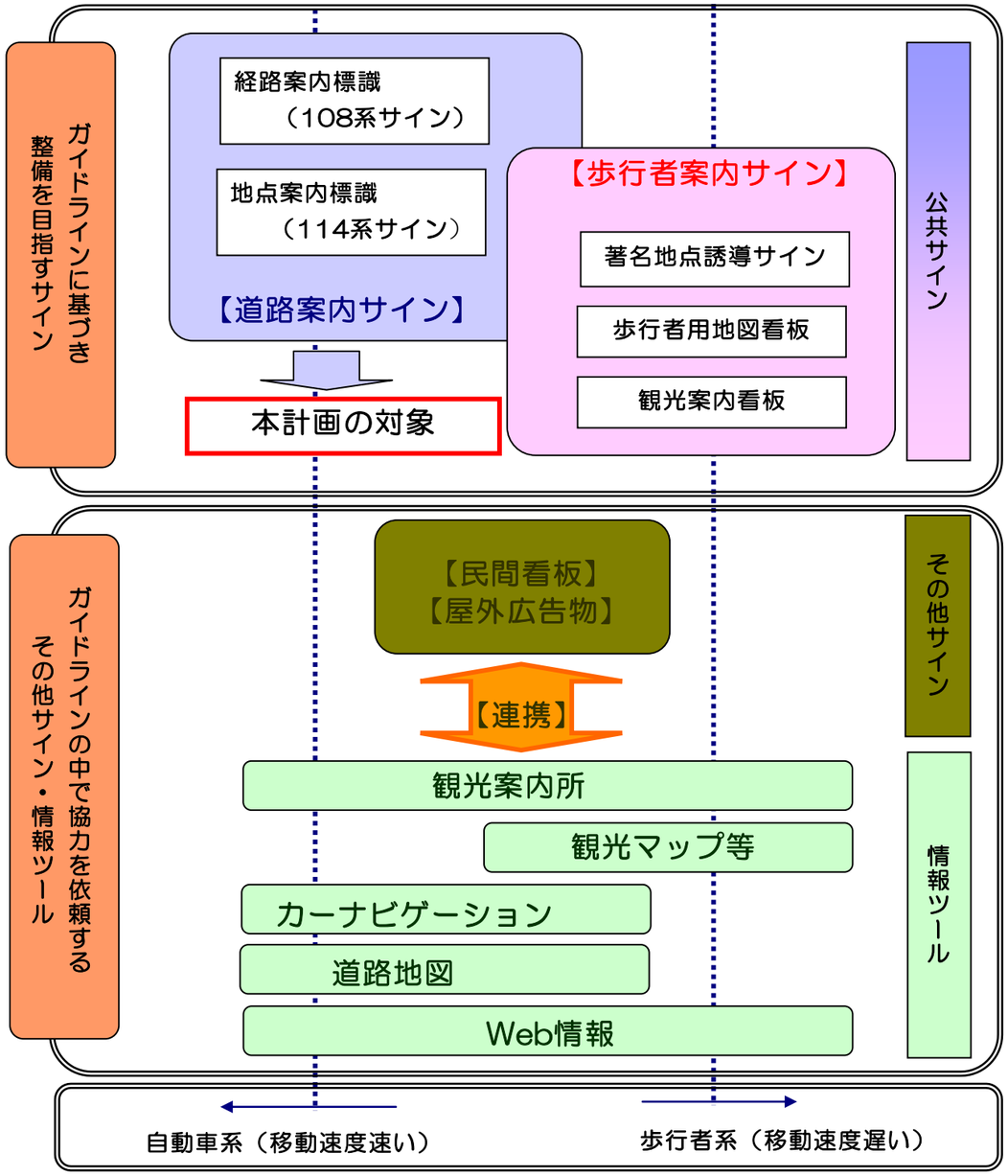
①現在どのような案内・表示になっているのか（現状把握）
②誘導案内において何が問題となっているのか（課題分析）
③課題を解決するため何が必要か（サインシステム構築）
を踏まえたサイン計画を策定する必要性があるものと考えられる。

そこで本検討では、南砺市への来訪者や市民にとって分かりやすい案内の表示や施設案内表示を整備することにより、スムーズな案内誘導を進め、併せて都市景観の向上や世界遺産を含め、歴史文化の顕在化と魅力ある自然景観を大切にした都市へ到達できるよう南砺市サイン計画を策定することを目的とする。

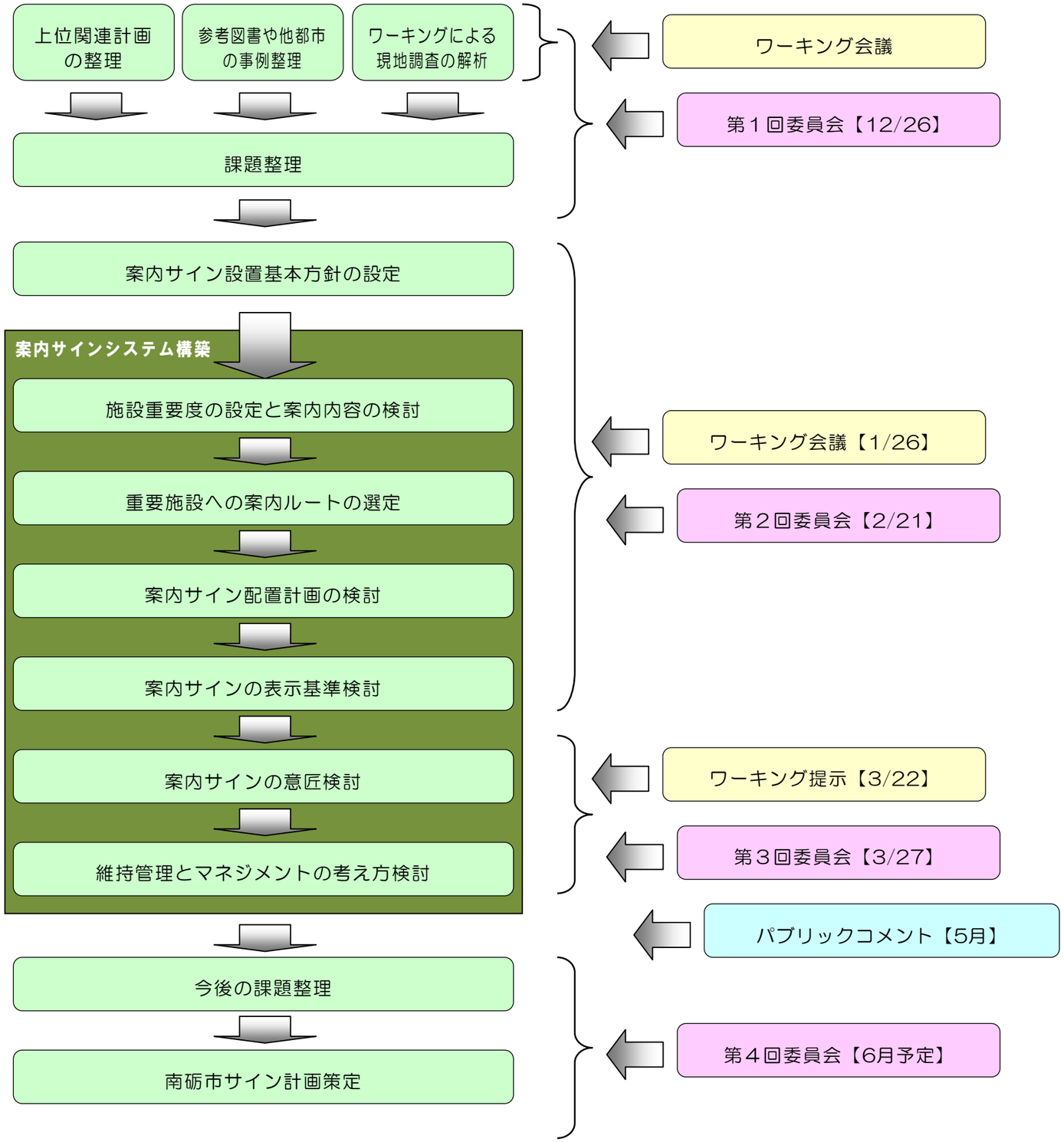


ガイドラインが対象とする公共サインは、利用者が目的地まで移動する際に現地で活用されるもので、主として行政機関が整備する道路案内標識や著名地点誘導サイン、観光案内看板などとする。

公共サインが提供できる情報は限られており、観光案内所や観光マップ等の情報ツールの活用が重要である。このため、民間の観光案内や各種情報ツールについては、ガイドラインに沿った情報の提供を行う必要がある。



２．検討の流れ


上位関連計画の整理
参考図書や他都市の事例整理
ワーキングによる現地調査の解析
課題整理
ワーキング会議
第１回委員会【12/26】
案内サイン設置基本方針の設定
案内サインシステム構築
施設重要度の設定と案内内容の検討
重要施設への案内ルートの選定
案内サイン配置計画の検討
案内サインの表示基準検討
案内サインの意匠検討
維持管理とマネジメントの考え方検討
ワーキング会議【1/26】
第２回委員会【2/21】
ワーキング提示【3/22】
第３回委員会【3/27】
パブリックコメント【5月】
今後の課題整理
南砺市サイン計画策定
第４回委員会【6月予定】

３．南砺市におけるサイン設置上の課題

３－１　案内サイン設置上の課題

上位関連計画の位置付けや事例などから、案内サインの設置上の課題や表示上の課題を以下の視点に基づき整理する。

＜課題整理の視点＞

- 標識の文字寸法が設置年次でバラバラであり、見にくくなっていないか
- 108系と114系の表示内容と板面（色）が混在していないか
- 本来標示しない情報や色彩を使用しているサインがないか
- １０８系の表示内容で地名表記が路線内で統一されているか（行き先表示のレベル、ローカルな地名まで表示している標識が混在していないか）
- 108系のサインで主要観光地に適切に誘導できない状況にある路線がみられないか
- １０８系の文字寸法が小さくないか
- 114系のサインが主要交差点に乱立しており、どのサインが何をどこへ誘導しているのか分かりづらくなっていないか
- １１４系のデザインが旧町村別に分かれていないか
- １１４系の文字寸法が小さくないか
- サインが多言語化（国際規格）されているか、エリア（旧町村単位）毎にその対応状況にばらつきがみられ、市としての統一性がないか
- スキー場案内等の公共サインのデザインがバラバラでないか
- 案内の対象者がドライバーなのか歩行者なのか不明確な案内マップが設置されていないか
- 過剰な大きさの標識が設置されており、ビュースポットや撮影ポイントなどにおいて周辺の景観に影響を与えていないか

３－２　南砺市における案内サイン設置における課題

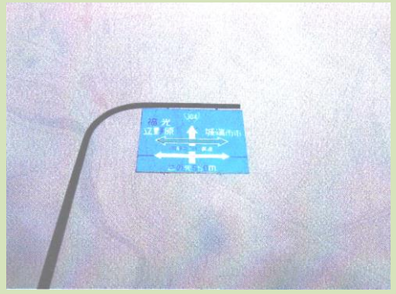
ワーキンググループによる公共サインの調査結果から、南砺市における案内サイン設置状況からみた課題を以下に整理する。

＜南砺市におけるサイン設置上の課題＞

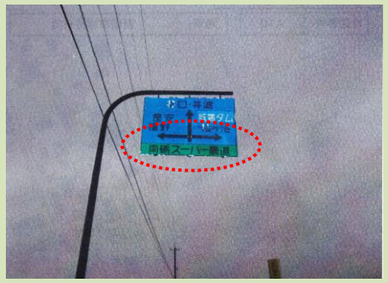
- サインが多言語化（国際規格）されていない。
- 多言語化されていても、エリア（旧町村単位）毎にその対応状況にばらつきがみられ、市としての統一性がない。
- 108系サインの地名標示レベルが統一されておらず、著名地点ではなくローカルな地名の表記が目立つ。
- 114系のサインが主要交差点に乱立しており、どのサインが何をどこへ誘導しているのか分かりづらくなっている。
- 108系のサインで主要観光地に適切に誘導できない状況にある路線がみられる。
- 標識の文字寸法が設置年次でバラバラであり、見にくくなっている。
- 過剰な大きさの標識が設置されており、ビュースポットや撮影ポイントなどにおいて周辺の景観に影響を与えている。
- 本来標示しない情報（スーパー農道の標示色が緑色になっている）や色彩を使用しているサインがある。
- サインに用いられているピクトサインが統一されていない。また、使用される際のルールにばらつきがみられる。
- １１４系のデザインが旧町村別で様々な種類に分かれており、統一感がない。

3－3　南砺市における案内サイン設置課題の実例

（１）標識の文字寸法が設置年次でバラバラであり、見にくくなっている。

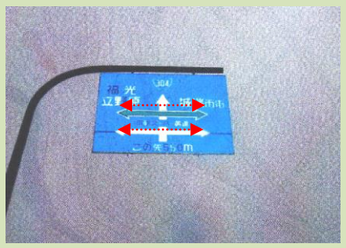


（２）本来標示しない情報（スーパー農道の標示色が緑色になっている等）や色彩を使用しているサインがみられる。



（３）１０８系の表示内容で地名表記が路線内で統一されているか（行き先表示のレベル、ローカルな地名まで表示している標識が混在していないか）

（５）108系のサインで主要観光地に適切に誘導できない状況にある路線がある。



（５）文字寸法が小さすぎ、視認が困難なサインとなっている。

（６）１１４系のサインが主要交差点に乱立しており、どのサインが何をどこへ誘導しているのか分かりづらくなっている。

（７）１１４系のデザインが旧町村別で様々な種類に分かれており、統一感がない。

（8）サインが多言語化（英語表記など）されておらず、エリア（旧町村単位）毎にその対応状況にばらつきがみられ、市としての統一性がない。

（9）スキー場案内等の公共サインのデザインがバラバラで統一感がない。

（10）案内の対象者がドライバーなのか歩行者なのか不明確な案内サインが設置されている。

（11）過剰な大きさの標識が設置されており、ビュースポットや撮影ポイントなどにおいて周辺の景観に影響を与えている。

（12）サインに用いられているピクトサインが統一されていない。また、使用される際のルールにばらつきがみられる。

４．誘導ルートの設定

南砺市において市外から観光地や市街地へと誘導するルートを設定する。
設定に当たって、以下に示す基本的な考え方に基づいて分類を行うものとする。

□ ルート整理における基本的な考え方 □

- 市外から訪れる来訪者は、金沢方向、小矢部方向、砺波方向、岐阜方向から、国道や県道に沿って流入するものとする。
- 北陸自動車道砺波ICや、東海北陸自動車道福光IC、（仮）南砺IC、五箇山ICなどからの流入は、最寄りの国道や県道を利用して行われるものとし、これらの道路への案内を行うものとする。
  ※各IC出口には市内各エリアへの方面別案内誘導サインを設置する。
- 南砺市の主要公共施設が存在する拠点を南砺市中心部とし、旧福光町、旧福野町、旧井波町、旧井口村、旧城端町と定める。
- 市外から中心部に到達するルートと、中心部でネットワークを構成しているルートを分けて識別する。
- 観光地として重要である五箇山地方へは、東海北陸自動車道からのアクセスを除けば、南砺市中心部から国道や県道を利用して行うものとする。
- 旧上平村、旧平村については中心部から距離のある、岐阜方面からの流入通過点にあるものと判断する。
- 旧利賀村に関しては、南砺市中心部からアクセスする目的地であるものと判断する。

□ 案内ルートの設定 □

注）南砺市の地名は旧地名で表記

（1） 南砺市中心部へ市外から到達するルート

国道304号※1	金沢市	←→	福光		
（主）金沢井波線※2	金沢市	←→	福光		
国道471号	小矢部市	←→	福野		
（主）砺波福光線	砺波市	←→	福野		
国道156号	岐阜方面	←→	上平	←→ 平	←→井波
	砺波市	←→	井波		

（2） 南砺市の中心部においてネットワークを構成するルート

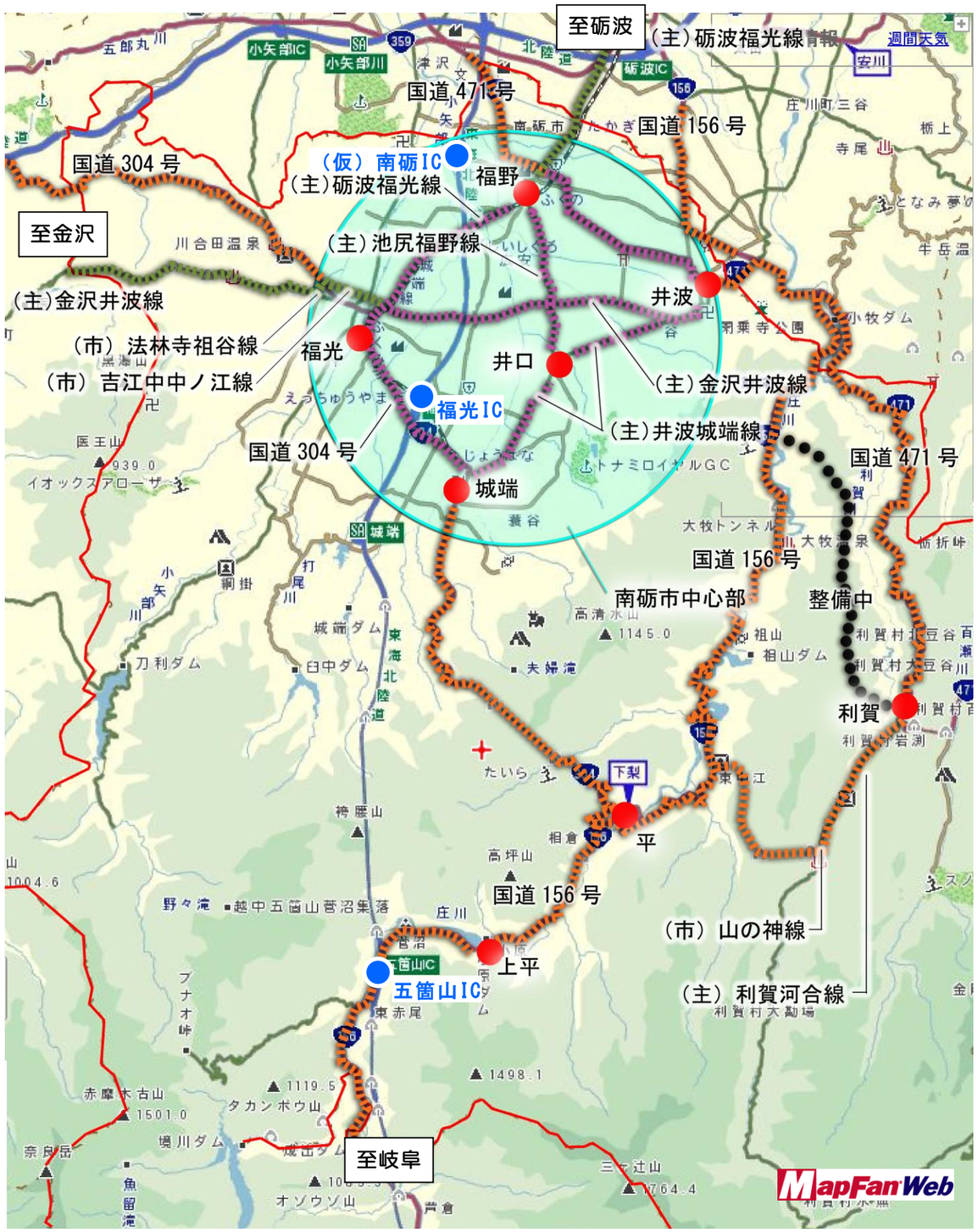
国道304号	福光	←→	城端
国道471号	福野	←→	井波
（主）砺波福光線	福光	←→	福野
（主）金沢井波線	福光	←→	井波
（主）井波城端線	井波	←→ 井口	←→ 城端
（主）池尻福野線	井口	←→	福野

（3） 南砺市中心部からアクセスするルート

国道471号	井波	←→	利賀

※1.国道304号について、福光市街地では市道を対象ルートとする。
※2.(主)金沢井波線について、（市）法林寺祖谷線、（市）吉江中中ノ江線を経由し福光市街地に至るルートを対象とする。

本計画におけるサイン計画は、上記案内ルートに沿って設ける案内サイン（108系および114系サイン）を対象とする。



※■■■ ■■■ 市内への流出入ルート
※■■■ 中心部をネットワークするルート

出典：マップファンネット